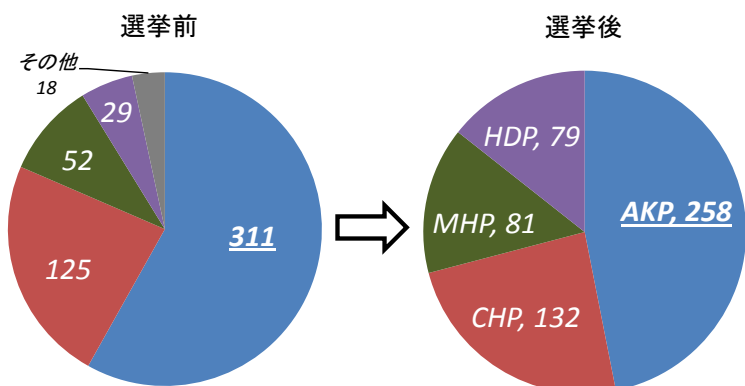


# トルコ：総選挙で与党が過半数割れ、当面は政治情勢がリラ相場に影響か

【図1】クルド系政党(HDP)など野党の躍進で、与党AKPは過半数割れ

トルコ 議会における各政党の議席分布 (総議席550)



注) AKP：公正発展党、CHP：共和人民党、MHP：民族主義行動党、HDP：国民民主主義党  
選挙前は535議席（死亡や他の選挙への立候補により15議席が欠員）。

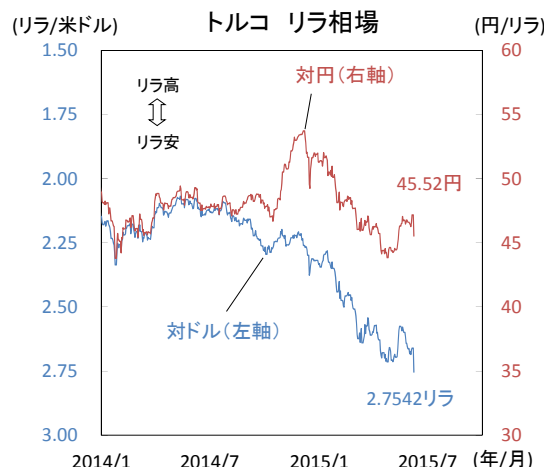
出所) トルコ大国民議会、各種報道資料より当社経済調査部作成

## ■大統領の権限強化を目指した憲法改正は困難に

6月7日に実施されたトルコ総選挙では、与党の公正発展党（AKP）が258議席と、2002年の政権発足以来初の過半数割れとなりました。エルドアン大統領の出身母体でもあるAKPは、選挙で5分の3以上（330議席）を確保し、憲法改正による大統領の権限強化を目指していましたが、その実現はほぼ不可能になりました（図1）。

AKP過半数割れの背景には、クルド系政党である国民民主主義党（HDP）の躍進があります。近年、クルド系住民の多いトルコ南東部（イラク・シリア等との隣接地域）には、隣国の内乱によって多数の難民が流入し、これに対する住民の不満がAKPへの批判につながるるとともに、HDPの支持拡大をもたらしたようです。また有権者の間に、強権的な姿勢を強めるエルドアン大統領やAKPの長期政権に対する反発があったことも、HDPを含む野党の議席増に寄与した模様です。

【図2】足元で進行するリラ安と、2014年半ば以降から続いた利下げ



注) 左図の直近値は、2015年6月8日（最終日は日本時間午前11時時点）。  
右図の直近値は、各種政策金利は2015年6月5日、消費者物価は2015年5月。

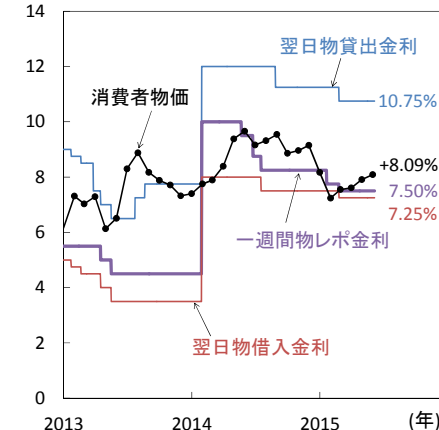
出所) Bloomberg、トルコ統計庁、トルコ中央銀行より当社経済調査部作成

## ■短期的には、不安定な政治情勢がリラに与える影響に注意

AKPの過半数割れで、政治の先行きが不透明になったことから、通貨リラは下落しました（1ドル＝2.7542リラ、日本時間午前11時、図2左）。今後、AKPが単独で少数与党となるか、連立政権が発足するか、早期の解散総選挙が実施されるかは不透明ですが、情勢が落ち着くまでリラは不安定な動きが続くとみえています。

ただし今回の結果は、中長期的にはリラにとって必ずしも悪材料ではないと考えます。トルコでは高インフレや経常赤字にもかかわらず、エルドアン大統領は中央銀行に利下げ圧力を加え続けていました（図2右）。今回の選挙結果は経済政策への不満も影響したと報じられています。選挙を受け大統領の影響力が低下し、政権の姿勢がインフレ抑制と経常赤字縮小のため中央銀行の利上げを容認する方向に転換すれば、リラの安定をもたらす要因となると考えます。（末吉）

トルコ 各種政策金利と消費者物価 (前年比)



### 本資料に関してご留意頂きたい事項

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として、国際投信投資顧問が作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。なお、以下の点にもご留意ください。

- 本資料中のグラフ・数値等はあくまでも過去のデータであり、将来の経済、市況、その他の投資環境に係る動向等を保証するものではありません。
- 本資料の内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等をもとに作成しておりますが、その正確性、完全性等を保証するものではありません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の国際投信投資顧問経済調査部の見解です。  
また、国際投信投資顧問が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。